

生きものと出えるフィールド紹介

南烏山二丁目
みんなのにわ緑地

世田谷区南烏山2丁目1番6号

畑や草地にもたくさんの生きものがすんでいます。区内で比較的多くの農地が残されている烏山にある「南烏山二丁目みんなのにわ緑地」は、誰もが憩える緑地です。昔ながらの農家の庭先をイメージしたウメや、かつてこの地域の農家で魔除けの木として植えられていたというエノキのシンボルツリーがあります。



畑

隣接した畑では四季折々野菜が育てられており、緑地とあわせて空が広がる風景に出会えます。公園ボランティア団体「畑部」が畑のお世話をしています。



ゴーヤトンネル

夏のゴーヤトンネルは猛暑でも中が冷んやりして、ヒートアイランド現象の抑制に緑は必須と実感します。



虫の家

みんなのにわの草やはっぱをつみあげて土に戻しています。たくさんのお虫のすみかです。



レインガーデン(雨庭)

雨の翌日は水たまりになって、ゆっくりと雨水を土の中に還します。



ぶんちゃん(畑部メンバー)

生きもの観察会の時には、子どもたちが花壇や畑の周辺を走り回って採取したチョウやトンボを集めて、講師の先生が説明して自然に帰しました。新しく整備された公園でも、1年経つとこんなに昆虫が集まってくるのか、と驚いたよ。僕は自然のことはあまり詳しくないのだけれど、主みたいな大きなカマキリがシンのところにいるのは知っている。あと、ナガミヒナゲシという外来種は覚えたよ。可憐な花が咲くのと、繁殖が強く他の植物が育たなくなるから、気がつくたびに抜くようにしている。こうした管理が、昆虫を増やすことに役立っているのかも知れないね。

からすやま地域の力を集める会(公園ボランティア団体)
みやっち(畑部代表)

バジルやシソなど、たくさんのお収穫ができるハーブ類は遊びに来た人がだれでも収穫できます。実のなる野菜は地域の子ども食堂へ提供しています。

その他の生きものピックアップ

水辺と緑地を
行き来するトンボ

今年、オナガサナエと言う大きなトンボの報告が写真付きでありました。ヤゴ(幼虫)時代を多摩川などの大きな河川で過ごすトンボで、成虫になって周りの緑地や公園に餌を取りに来ているのかもしれませんが、2021年から2023年の間で、トンボ類は21種報告されています。多くはシオカラトンボやオオシオカラトンボなど。公園の池や学校のビオトープなど水の中でヤゴ時代を過ごす種類です。湧水など小さな水路に棲むオニヤンマ、野川などに棲むハグロトンボなどもよく報告されています。

2021年～2023年の3年間に報告されたトンボ類

報告回数	種名	種類数
20回以上	シオカラトンボ ・ ウスバキトンボ ・ クロイトトンボ ・ アキアカネ オオシオカラトンボ	5種
3～19回	オニヤンマ ・ ショウジョウトンボ ・ ハグロトンボ ・ コノシメトンボ ギンヤンマ ・ アジイトトンボ ・ クロスジギンヤンマ ・ ヤブヤンマ	8種
1～2回	オナガサナエ ・ コシアキトンボ ・ ミヤマアカネ ・ モノサシトンボ コオニヤンマ ・ チョウトンボ ・ マイコアカネ ・ リスアカネ	8種

※種名は報告数の多い順に並べました。一番多いのは77回のシオカラトンボ



オナガサナエ

シオカラトンボ

ハグロトンボ

水場を作ってトンボを呼んでみよう!

トンボ類は何もない水面でも広く飛び回りながら、産卵する場所を探し、ちょっとした水たまりも見つけてやってきます。夏から秋、お庭に小さな池やベランダに水鉢を作って、トンボを呼んでみませんか。



トンボさん
やっほ

畑に集まる生きもの



畑部のたくさんの報告からは、畑の作物とそこに集まる生きものたち、手入れする人たちの息づく風景が伺えます。作物の花に蜜や花粉を求めて来るキアゲハやヒメハラナガツチバチなど。アブラムシをエサにするてんとう虫の仲間たち。草地にはショウリョウバッタやオンブバッタ、これらの虫たちをエサにするカマキリの仲間。生きものは、虫の家も畑も垣根なく自由に行き来していると思います。その分、畑のお手入れも大変かもしれませんが、皆さんの思いとちょっとした工夫でこんなに生きものが集まる風景を楽しむことができるんですね。

まちの生きものしらべ 2023



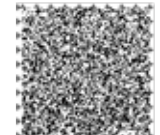
まちの生きものしらべは、子どもから大人まで多くの方が参加して2015年から継続して実施しています。世田谷にもともといた動物、いなかった動物、見つかりやすい動物など、指標となる15種を選定して観察を続けることで、生息環境の特徴や変遷が確認できます。みなさんの報告から、わたしたちの世田谷が『どのようなまち』なのか、今後どうあればよいかが見えてきます。

報告件数ランキング 総数 2748件



生きものしらべ調査結果

音声コード



事務局から 生きものを呼ぶ「ちよこつと空間」をつくってみよう

家の庭やベランダ、商店街の店先などで生きものを呼ぶ「ちよこつと空間」が、チョウやトンボ、野鳥などが、蜜を吸ったり卵を産んだり一休みする大切な場所になります。「ちよこつと空間」の詳しい作り方は、世田谷区のホームページをご覧ください。



発行: 世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 電話: 03-6432-7905
発行日: 2024年3月

これまでのニュースレターや皆さんから頂いた写真などはこちらから
世田谷区 まちの生きものしらべ 調査結果 で検索